

2020 年度推薦入学者選考実施内容

会津大学短期大学部 食物栄養学科

本学科では以下の内容で 2020 年度の選考を実施しましたので、参考にしてください。

記

【小論文】

[出題の内容とねらい]

問題 1 (英文読解)

本学科の専門教育を受ける能力があるか、およびアドミッションポリシーに適合しているかどうかを判断するため、高校で学んだ英語の習熟度とともに、食物栄養に関する知識、理解力、表現力を問う。

出典：農林水産省 日本食・食文化の魅力を発信する冊子（英語版）：The Washoku Way -Japan's Nuanced Approach to Food- p.38 より抜粋

問題 2 (小論文)

本学科の専門教育を受ける能力があるか、およびアドミッションポリシーに適合しているかを判断するため、食物栄養に係る記事（図表入り）を読ませ、理解力、表現力等を評価する。

出典：平成 29 年度食育白書、「一日の全ての食事を一人で食べている「孤食」の状況」、農林水産省（2018）、pp. 16～21 を一部改変

[採点のポイント]

問題 1 (英文読解：15 点満点)

- 問 1 本文全体の内容を理解できているか。
- 問 2 本文中の該当する部分を見つけ出せるか。日本のだしとフランス料理のフォンの違いについて理解できているか。
- 問 3 だしのとり方、だしをとる材料についての本文の理解と知識があるか、本文の内容に沿って表現できているか。

問題 2 (小論文：30 点満点)

- 問 1 図 1 について、「ほとんど孤食なし」「週 2 日以上孤食」の 2 群の傾向の差を把握することができているか。

問2 図2から、平成29(2017)年と平成23(2011)年の調査結果を比較して、平成29(2017)年がどのように変化したのか読み取ることができているか。

問3 健康を支え守るための社会環境(地域や所属するコミュニティ等の相互扶助や絆及び支援)の整備の視点を持って考えることができているか。自分の意見を論理的に書くことができているか

【面接】

[面接の形態]

- ・個別面接とする。
- ・遠方の受験生から順に実施する。
- ・面接時間は、一人当たり約15分間とする。

[質問の内容とねらい]

質問の内容

- ・会津大学短期大学部食物栄養学科の志望に対する熱意、卒業後の進路
- ・高校での課外活動状況
- ・食物栄養学科で学ぶ意欲、体力、能力があるか。
- ・他の学生や教職員と強調して学業、大学生活全般の活動をすることができるか。

質問のねらい

会津大学短期大学部食物栄養学科を志望した理由、食・栄養・健康などの専門分野に対する関心度、食物栄養学科で取得できる資格の理解度、資格取得の熱意、学業への意欲、他者との協調性を判断・評価する。

[採点のポイント]

- ・推薦書および調査書に基づき、上記の質問に対する回答の内容に基づき、50点満点で評価する。

【調査書】

[採点のポイント]

「生徒会活動・部活動」、「ボランティア活動」、「スポーツ・文化活動での受賞」、「出席状況」、「学科関連検定資格取得」について評価する。